

当社の「蓄冷材料」が株式会社コールドキューブのワインセラーに搭載

シャープが開発した「蓄冷材料」が、株式会社コールドキューブ(静岡県浜松市、社長：嶋田成彦、以下“コールドキューブ”)のワインセラーに搭載され、今春より発売される予定です。

当社は、オーダーメイドのワインセラーを設計製造しているコールドキューブと「蓄冷材料」をワインセラーに搭載する検討を、2015年10月より開始。実証実験を重ねた結果、「蓄冷材料」を搭載することで、外気温26.7℃の環境下で停電が発生した際に、ワインセラー内の温度を20℃以下に保持できる時間が従来のおよそ2倍となる約2時間に向上することを確認しました。(実験データ参照)

本成果に基づき、2016年11月に蓄冷ワインセラーおよび蓄冷冷却器の開発に関連する特許を共同出願し、2017年春よりコールドキューブからワインセラーを発売することになりました。停電時にワインセラー内の温度上昇を一定時間抑制できる「蓄冷材料」を搭載することにより、ワインセラーをより安心してご使用いただけます。

当社は、液晶材料の研究で培ってきた技術をベースに、エネルギーとしての熱を電気に変換するのではなく、熱として蓄える蓄熱技術の研究開発を行っています。2014年にはこの研究の成果として、冷凍室で凍結する材料に加え冷蔵室で凍結する材料を開発し、電力事情が悪く停電が多発する海外地域で販売する当社製冷蔵庫の一部に搭載しています。

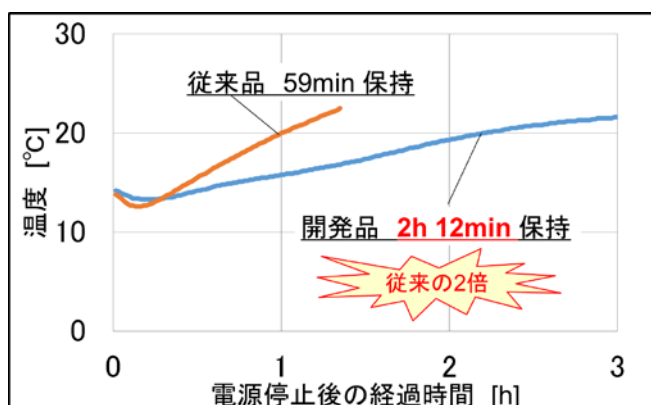
今後も蓄熱技術の研究開発を進め、様々な分野で活用いただけることを目指してまいります。

■ 概要

- ・搭載商品：株式会社コールドキューブ社製ワインセラー
- ・発売予定：2017年春



画像提供：株式会社コールドキューブ



実証実験データ (外気温26.7℃環境下でのワインセラー内温度)

【お問い合わせ先】

お客様：研究開発事業本部 材料・エネルギー技術研究所 第二研究室 (04)7135-6951